

平成28年5月16日

各位

株式会社 北海道銀行

FinTechを活用した投資信託アドバイザー・ツールの導入について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）では、平成28年5月16日より、FinTechを活用した投資信託用ロボ・アドバイザーツール（以下、ロボアド）『ポートスター』を地方銀行で初めて導入したことをお知らせいたします。

『ポートスター』では「個別のファンドを選ぶのは大変」「市場動向に合わせてリバランスを行うのは難しい」等のお考えのお客さまに対し、簡単な質問5問（投資期間・方針・行動等）に答えていただくことで、対象ファンド（ ）の中からお客さまのリスク許容度に応じたファンドをご提案いたします。

なお、『ポートスター』は米国においてロボアドの実績が豊富なイボットソン社のノウハウを活用した三菱UFJ国際投信が提供するロボアド（プロファイリング機能）です。

対象ファンドは《eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）/（マイディフェンダー）/（マイミッドフィルダー）/（マイフォワード）/（マイストライカー）》の5ファンドです。これら以外の他社ファンドや投資信託以外の金融商品は選定の対象に含まれておりません。また、『ポートスター』はバランス・ファンドが適合すると考えられるお客さまに対して、対象ファンドの中から最適と考えられるファンドを一例として選定・提示するものであり、お客さまごとにその知識・経験・財産の状況、および投資目的は異なることから、全てのお客さまに当てはまるものではありません。

対象ファンドの商品概要・リスク・費用等については当行ホームページでご確認ください。

以上

【本件に関する照会先】

（株）北海道銀行 リテール推進部 佐藤・戸田 TEL 011-233-1255
広報CSR室 大海・西東 TEL 011-233-1005

<画面遷移イメージ>

<北海道銀行HP>

・パソコン



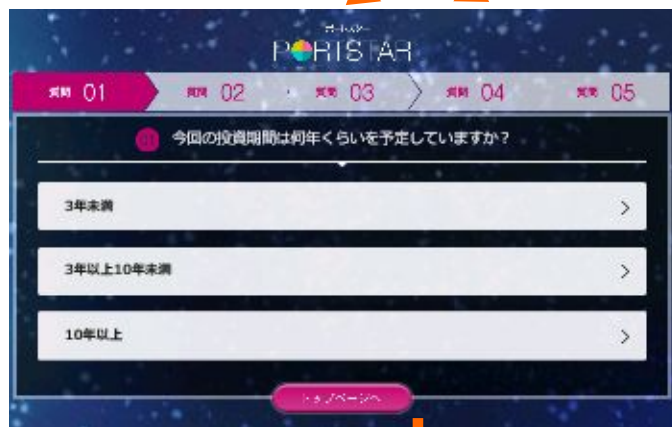
・スマホ



パソコン・スマホからアクセス

<ポートスター>

・質問画面



質問はわずか5問！ 資産配分/ファンドを提案！

<ポートスター>

・結果画面



北海道銀行インターネットバンキング
ログイン画面に遷移！

投資信託に関する留意事項

1. 投資信託に係るリスクについて

投資信託は預金商品ではなく、預金保険の対象ではありません。また、当行でお取扱する投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券（株式・債券・リート等）等に投資するため、元本の保証や、一定の利回りが約束されている商品ではありません。

投資信託は組入れ資産の価格の下落（株式・債券等の価格の下落や金利の変動、その他商品固有の要因）により基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、組入れられた株式・債券等の発行体の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。

外貨建て資産に投資するものは、このほかに為替相場の変動により基準価額が変動するため投資元本を割り込むことがあります。

投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。

一部の投資信託には、信託期間中に中途換金ができないものや、換金可能日時があらかじめ制限されているものがあります。

北海道銀行は投資信託の募集・お申込等のお取扱を行い、投資信託の設定・運用は運用会社、信託財産の管理等は信託銀行が行います。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込にあたっては、必ず最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」や「契約締結前交付書面」等をよくご覧いただき、ご自身でご判断ください。

「投資信託説明書（交付目論見書）」は北海道銀行の本・支店の窓口でお渡しいたします。

2. 投資信託に係る費用について

お申込時に直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限 3.78%（消費税込）

ご換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限 1.2%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・信託報酬・・・上限 2.16%（消費税込）

・その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じて監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用がかかります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。（その他費用の金額は、保管期間などにより異なるため表示することができません。）

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、当行で取扱いしている投資信託が徴収する夫々の費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、お申込の際は事前によく、目論見書や契約締結前交付書面をご覧ください。